

平成29年度全国学力・学習状況調査 鳥取県の結果について

平成29年10月13日
小 中 学 校 課

平成29年4月18日に実施した全国学力・学習状況調査について、平成29年8月28日に文部科学省から調査結果が公表されました。本県の調査結果概要は次のとおりです。

1 本県の状況

調査結果（平均正答率）

[単位：%]

	国語A		国語B		算数・数学A		算数・数学B	
	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)
小学校6年	76	74.8	57	57.5	77	78.6	46	45.9
中学校3年	77	77.4	72	72.2	63	64.6	48	48.1

■国語は、小学校ではA問題（主として知識に関する問題）で全国平均を上回り、B問題（主として活用に関する問題）では全国平均との差は見られなかった。中学校はA問題、B問題とも全国平均との差は見られなかった。

■算数・数学は、小学校、中学校ともに、A問題で全国平均を下回った。B問題については全国平均との差は見られなかった。

2 分析結果

(1) 教科の分析

■国語については、小学校は「自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉えること」等について、中学校は「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使うこと」「表現の仕方について捉え、自分の考えを書くこと」等、読解力・表現力に課題が見られた。

■算数・数学については、小学校は「加法と乗法の混合した整数と小数の計算」等、中学校は「関数の意味を理解すること」といった、基礎・基本となる知識・技能の確実な習得に課題が見られた。

(2) 質問紙調査結果と2教科平均正答率との関係（以下の項目で肯定率が高い児童生徒が2教科平均正答率が高い傾向）

- ・学習に対する関心・意欲の高い児童生徒
- ・朝食摂取、起床時刻、メディアとの接し方等、基本的な生活習慣が確立されている児童生徒
- ・学習習慣を身に付け、一定の家庭学習等の時間を確保している児童生徒の方
- ・家の人と学校での出来事について話をする等、家庭内でのコミュニケーションが図られている児童生徒
- ・地域や社会に対する関心の高い生徒

(3) 地域別・市町村別の状況

■地域別結果については、明らかな地域差は見られなかった。

- ・小学校では、東部地域は2教科4区分全てで全国と差がないか上回る結果であったが、中部地域は国語B問題で、西部地域は算数A問題で全国を下回り、それぞれ課題が見られた。
- ・中学校では、中部地域は2教科4区分全てで全国と差がないか上回る結果であったが、東部地域は国語B問題、数学A問題で、西部地域は数学A・B問題で全国を下回り、それぞれに課題が見られた。

■市町村別結果については、小学校で最大19ポイント、中学校で最大15ポイントの差が見られた。

- ・小学校では、学力調査の結果と質問紙調査の関連項目が合致する市町村が多い。
「授業内容がよく分かる」「発表を伝えるように工夫する」などの項目が概ね相関が見られる。
○成果の上がった市町村 ⇒ 「家で自ら計画を立てて学習する」、「復習をする」などの項目が高い
○課題のある市町村 ⇒ 「宿題をする」、「算数の勉強は大切だと思う」などの項目が低い
- ・中学校でも、学力調査の結果と質問紙調査の関連項目が合致する市町村が多い。
「国語の目的に応じて資料を読み、自分の意見を話す、書く」「数学の問題を解くとき、もっと簡単な解き方がないか考える」などの項目が概ね相関が見られる。
○成果の上がった市町村 ⇒ 「家で自ら計画を立てて学習する」、「テレビ、ビデオ・DVD、ゲームをする時間が2時間未満」などの項目が高い
○課題のある市町村 ⇒ 「家で予習をする」、「1日当たり2時間以上勉強をしている」などの項目が低い

2 成果と課題

(1) 成果

- 授業の中で、自分たちで課題を立てて、解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表するなどの学習活動に取り組むといった「アクティブ・ラーニングへの取組状況」に関する質問について、児童生徒の肯定的な回答の割合が全国と比較して高いものが多いことから、各学校で児童生徒主体の授業づくりが進められていることがうかがえる。
- 「学校のきまりや友達との約束を守る」「いじめはいけない」と回答した児童生徒の割合が高いことから、学校や家庭で規範意識の醸成が図られていることがうかがえる。
- 「学校で友達に会うのは楽しい」「みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがある」と回答した児童生徒の割合が高いことから、学校において豊かな人間関係を築くための取組が推進されていることがうかがえる。

(2) 課題と対応策（検討案）

課題①：算数・数学の基礎的・基本的事項の習得に課題が見られる。

＜対応策（検討案）＞

- ・学力向上プロジェクト（仮称）の実施
 - 地域の核となる「理数教育重点推進校」を指定し、優れた実践事例・成果を共有
- ・課題が見られた箇所ごとに「授業改善のポイント」をまとめた資料の周知・徹底
- ・「算数・数学の授業スタンダード※」を県・市町村共同で作成し、全小中学校に配布
 - ※「児童生徒の興味関心を高める課題の提示」「解決の方法や考え方を身に付けさせるノート指導」「児童生徒の理解が深まる話し合いの仕方」「反復学習時間の確保」等について示すことを想定
- ・「とりっこドリル」の活用・普及による基礎・基本の反復学習

課題②：テレビやビデオ・DVDの視聴時間は全国と比較して長い反面、一定時間以上家庭学習（学習塾等におけるものを含む）の確保や、宿題・予習・復習等への取組に課題が見られる。

＜対応策（検討案）＞

- ・「学習習慣・生活習慣の確立に向けたリーフレット」を作成し、全小中学校教員・保護者に配布
- ・PTAにも協力を呼びかけ、効果的な家庭学習の方法や宿題の出し方の工夫を研究・実践（「家庭学習充実ガイド」の作成等）
- ・公設民営型・公営型塾（地域未来塾含む）の拡充を支援
- ・大学生や地域人材を活用した補充授業の実施

課題③：読解力に課題が見られる。

＜対応策（検討案）＞

- ・音読プロジェクト（仮称）の実施
 - 全ての学習の基礎となる読解力を高めるため、国語だけに限らず他教科においても音読を重視した取組を進める。モデル地区を指定し、読解力を測るためのテストを活用して読解力を把握し、読解力の重要性や音読の効果等について講演等により教員・保護者等が理解した上で、各教科の教科書について学校及び家庭において音読に取り組み、その効果検証と他地域への普及を図る。

課題④：「将来の夢や目標を持っている」「人前で自分の意見が言える」等自尊感情に課題が見られる。

＜対応策（検討案）＞

- ・キャリア教育の推進・充実
 - アスリートや卒業生など、各分野で活躍している方々による指導教室や講演会の開催
 - 地域の施設訪問・職業体験等の実施 等
 - 各教科等で取り組む内容について整理した資料を作成し、周知・徹底を図る。

課題⑤：地域や市町村ごとに、校種や教科によって見られる課題が異なる。

＜対応策（検討案）＞

- ・地域課題に応じた学力向上支援事業（仮称）の実施
 - 学力向上実践地域（市町村）を指定し、授業改善や基礎学力定着のための校内システムづくりを支援（外部人材を活用したアドバイザー派遣等）
 - 地域課題に応じた地域別研修会の実施と学力向上支援資料（授業づくりや若手教員向けの学級づくりのポイントをまとめたもの等）の作成

平成29年度全国学力・学習状況調査結果 鳥取県の概要【資料】

平成29年10月13日
小 中 学 校 課

1 実施状況

【小学校6年生】

教科等	国語A	国語B	算数A	算数B	質問紙
人数	4,709	4,707	4,708	4,707	4,708

【中学校3年生】

教科等	国語A	国語B	数学A	数学B	質問紙
人数	4,684	4,675	4,676	4,670	4,679

2 教科の概要

(1) 小学校6年生

【平均正答率】

[単位：%]

	国語A		国語B		算数A		算数B	
	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)
H29	76	74.8	57	57.5	77	78.6	46	45.9
H28	75.2	72.9	58.0	57.8	77.0	77.6	46.8	47.2
H27	71.5	70.0	66.8	65.4	74.6	75.2	45.2	45.0

国 語

○国語A（主として知識）… 15問

◆平均正答率・・・鳥取県 76%，全国 74.8%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は10問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は5問

《全国平均以上で正答率が高かった主な問題》

「学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む（指示）」問題
(鳥取県 95.9%，全国 94.5%)

「学年別漢字配当表に示されている漢字を正しく読む（期限）」問題
(鳥取県 94.8%，全国 94.5%)

《全国平均未満で正答率が低かった主な問題》

「俳句の情景を捉える」問題
(鳥取県 55.1%，全国 57.0%)

○国語B（主として活用）… 9問

◆平均正答率・・・鳥取県 57%，全国 57.5%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は6問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は3問

《全国平均以上で正答率が高かった主な問題》

「動画を見る目的を捉えることを通して、目的や意図に応じ、適切な言葉遣いで話す」問題
(鳥取県 78.8%，全国 77.2%)

「目的や意図に応じ、引用して書く」問題
(鳥取県 71.4%，全国 70.9%)

《全国平均未満で正答率が低かった主な問題》

「自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉える」問題
(鳥取県 22.6%, 全国 28.0%)

[国語関係の質問紙]

■肯定的な回答の割合が全国平均より高い主なもの

- ・「国語の勉強は好き」 (鳥取県 63.5%, 全国 60.5%)
- ・「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている」 (鳥取県 70.2%, 全国 68.0%)
- ・「今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題があったが、最後まで解答を書こうと努力した」 (鳥取県 78.9%, 全国 77.2%)
- ・「国語の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」 (鳥取県 89.2%, 全国 87.9%)

■肯定的な回答の割合が全国平均より低いもの

- ・「国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いている」 (鳥取県 74.5%, 全国 74.8%)

算 数

○算数 A (主として知識) … 15 問

◆平均正答率・・・鳥取県 77%, 全国 78.6%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は 5 問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は 10 問

《全国平均以上で正答率が高かった主な問題》

「 60×0.4 を、 60×4 を基にして考えるときの、正しい積の求め方を選ぶ」問題
(鳥取県 91.7%, 全国 91.0%)

《全国平均未満で正答率が低かった主な問題》

「二次元表の合計欄に入る数を書く」問題 (鳥取県 60.9%, 全国 62.8%)
「 $6 + 0.5 \times 2$ を計算する」問題 (鳥取県 63.0%, 全国 66.6%)

○算数 B (主として活用) … 11 問

◆平均正答率・・・鳥取県 46%, 全国 45.9%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は 3 問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は 8 問

《全国平均以上で正答率が高かった主な問題》

「示された考えを基に、 $54 - 45$ の場合で残る部分を図に表す」問題
(鳥取県 81.8%, 全国 81.8%)

《全国平均未満で正答率が低かった主な問題》

「与えられた情報から、基準量、比較量、割合の関係を捉え、最大の満月の直径に近い硬貨を選び、選んだわけを書く」問題 (鳥取県 11.6%, 全国 13.2%)
「13 本の直線を使う場合、手紙の用紙の長い辺を 3 等分するのは、何本目の直線と交わった点かを書く」問題 (鳥取県 26.9%, 全国 27.4%)

[算数関係の質問紙]

■肯定的な回答の割合が全国平均より高い主なもの

- ・「算数の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」
(鳥取県 82.1%, 全国 81.1%)
- ・「算数の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」
(鳥取県 86.9%, 全国 86.0%)
- ・「算数の問題について、解答を言葉や数、式を使って、わけや求め方などを書く問題があったが、最後まで解答を書こうと努力した」
(鳥取県 71.7%, 全国 69.9%)

■肯定的な回答の割合が全国平均より低い主なもの

- ・「算数の勉強は好き」 (鳥取県 61.3%, 全国 65.9%)
- ・「算数の授業の内容はよく分かる」 (鳥取県 77.5%, 全国 80.6%)

(2) 中学校3年生

【平均正答率】

[単位：%]

	国語A		国語B		数学A		数学B	
	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)	本県(公立)	全国(公立)
H29	77	77.4	72	72.2	63	64.6	48	48.1
H28	76.7	75.6	67.1	66.5	63.2	62.2	44.4	44.1
H27	76.9	75.8	66.2	65.8	64.3	64.4	41.2	41.6

国語

○国語A (主として知識) … 32問

◆平均正答率・・・鳥取県 77%, 全国 77.4%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は 15 問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は 17 問

《全国平均以上で正答率が高かった主な問題》

「文脈に即して漢字を正しく読む(覚悟を決める)」問題
(鳥取県 98.9%, 全国 98.7%)

「文脈に即して漢字を正しく読む(鮮やかな色合い)」問題
(鳥取県 95.5%, 全国 94.5%)

《全国平均未満で正答率が低かった主な問題》

「語句の意味を理解し、文脈の中で適切に使う(急がば回れ)」問題
(鳥取県 56.8%, 全国 61.4%)

○国語B (主として活用) … 9問

◆平均正答率・・・鳥取県 72%, 全国 72.2%。

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は 5 問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は 4 問

《全国平均以上で正答率が高かった主な問題》

「場面の展開や登場人物などの描写に注意して読み、内容を理解する」問題
(鳥取県 84.7%, 全国 84.1%)

「登場人物の言動の意味を考え、内容を理解する」問題
(鳥取県 84.6%, 全国 84.1%)

《全国平均未満で正答率が低かった主な問題》

「表現の仕方について捉え、自分の考えを書く」問題

(鳥取県 40.4%, 全国 41.4%)

〔国語関係の質問紙〕

■肯定的な回答の割合が全国平均より高い主なもの

- ・「国語の授業で意見などを発表するとき、うまく伝わるように話の組み立てを工夫している」(鳥取県 60.2%, 全国 55.6%)
- ・「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしている」(鳥取県 67.2%, 全国 62.7%)
- ・「国語の授業で自分の考えを書くとき、考えの理由が分かるように気を付けて書いている」(鳥取県 69.0%, 全国 65.9%)

■肯定的な回答の割合が全国平均より低い主なもの

- ・「国語の授業の内容はよく分かる」(鳥取県 74.2%, 全国 74.9%)
- ・「今回の国語の問題について、解答を文章で書く問題がありましたが、最後まで解答を書こうと努力した」(鳥取県 72.0%, 全国 72.3%)

数 学

○数学A（主として知識）… 36問

◆平均正答率・・・鳥取県 63%, 全国 64.6%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は 11問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は 25問

《全国平均以上で正答率が高かった主な問題》

「 $5/9 \times 2/3$ を計算する」問題 (鳥取県 87.5%, 全国 87.1%)

《全国平均未満で正答率が低かった主な問題》

「長方形の縦の長さとの面積の関係を、『…は…の関数である』という形で表現する」問題 (鳥取県 15.7%, 全国 20.6%)

「反復横とびの記録の範囲を求める」問題 (鳥取県 21.4%, 全国 28.6%)

○数学B（主として活用）… 15問

◆平均正答率・・・鳥取県 48%, 全国 48.1%

- ・平均正答率が全国平均以上の問題は 7問
- ・平均正答率が全国平均未満の問題は 8問

《全国平均以上で正答率が高かった主な問題》

「六角形を 5 個つくるのに必要なストローの本数を求める」問題 (鳥取県 81.2%, 全国 80.4%)

「1 週間の総運動時間が 420 分のとき、含まれる階級の度数を求める」問題 (鳥取県 80.5%, 全国 79.3%)

《全国平均未満で正答率が低かった主な問題》

「四角形 ABCD の模様が 1 回の回転移動によって四角形 BEFG の模様になるとき、どのような回転移動になるかを説明する」問題 (鳥取県 11.3%, 全国 14.0%)

「六角形を n 個つくるのに必要なストローの本数を、 $6+5(n-1)$ という式で求めることができる理由を説明する」問題 (鳥取県 13.9%, 全国 14.5%)

〔数学関係の質問紙〕

■肯定的な回答の割合が全国平均より高い主なもの

- ・「数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える」
(鳥取県 75.5%, 全国 73.5%)
- ・「数学の授業で学習したことは、将来、社会に出たときに役に立つと思う」
(鳥取県 74.6%, 全国 72.4%)
- ・「数学の授業で問題の解き方や考え方が分かるようにノートに書いている」
(鳥取県 83.0%, 全国 81.3%)

■肯定的な回答の割合が全国平均より低い主なもの

- ・「数学の授業の内容はよく分かる」
(鳥取県 67.3%, 全国 69.4%)
- ・「数学の授業で問題を解くとき、もっと簡単に解く方法がないか考える」
(鳥取県 69.4%, 全国 71.2%)

3 質問紙調査の概要（本県経年比較を含む）

※ [] 内の数字は、質問番号

児童生徒質問紙調査

○小中共通 [5]

「難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 79.2%, 全国 77.4%

中学校 鳥取県 73.1%, 全国 71.0%

○小中共通 [6]

「自分には、よいところがあると思いますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 78.2%, 全国 77.9%

中学校 鳥取県 73.2%, 全国 70.7%

○小中共通 [10]

「将来の夢や目標を持っていますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 83.4%, 全国 85.9%

中学校 鳥取県 69.9%, 全国 70.5%

○小中共通 [12]

「普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、テレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりしますか」に2時間未満と回答

小学校 鳥取県 39.0%, 全国 44.2%

中学校 鳥取県 47.5%, 全国 50.8%

○小中共通 [15]

「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」に2時間以上と回答

小学校 鳥取県 20.9%, 全国 27.1%

中学校 鳥取県 30.1%, 全国 35.4%

○小中共通 [16]

「土曜日や日曜日など学校が休みの日に、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか」に3時間以上と回答

小学校 鳥取県 7.8%, 全国 12.2%

中学校 鳥取県 18.2%，全国 17.8%

○小学校〔29〕 中学校〔31〕

「家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 65.0%，全国 64.5%

中学校 鳥取県 54.3%，全国 51.5%

○小学校〔30〕 中学校〔32〕

「家で、学校の宿題をしていますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 96.1%，全国 96.9%

中学校 鳥取県 89.6%，全国 89.5%

○小学校〔31〕 中学校〔33〕

「家で、学校の授業の予習をしていますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 41.0%，全国 41.0%

中学校 鳥取県 25.6%，全国 31.7%

○小学校〔32〕 中学校〔34〕

「家で、学校の授業の復習をしていますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 56.7%，全国 53.8%

中学校 鳥取県 47.6%，全国 50.5%

○小学校〔37〕 中学校〔39〕

「学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 89.2%，全国 87.8%

中学校 鳥取県 86.9%，全国 86.0%

○小学校〔40〕 中学校〔42〕

「今住んでいる地域の行事に参加していますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 78.7%，全国 62.6%

中学校 鳥取県 50.6%，全国 42.1%

○小学校〔41〕 中学校〔43〕

「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 63.1%，全国 63.9%

中学校 鳥取県 60.4%，全国 59.2%

○小学校〔58〕 中学校〔60〕

「授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 75.9%，全国 75.1%

中学校 鳥取県 77.9%，全国 71.3%

○小学校〔72〕 中学校〔74〕

「読書は好きですか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 75.7%，全国 74.3%

中学校 鳥取県 74.9%，全国 69.9%

○小学校〔74〕 中学校〔76〕

「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 70.2%，全国 68.0%

中学校 鳥取県 67.2%，全国 62.7%

○小学校〔83〕 中学校〔85〕

「算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 66.8%，全国 69.1%

中学校 鳥取県 47.5%，全国 45.3%

学校質問紙調査

○小中共通〔36〕

「児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか」に肯定的な回答

小学校 鳥取県 95.3%，全国 95.5%

中学校 鳥取県 93.5%，全国 93.9%

鳥取県の「教育に関する大綱」に係る指標の状況（全国学力・学習状況調査に係るもの）

【1 学ぶ意欲を高める学校教育の推進 ～全国に誇れる学力を目指す学びの質の向上～】

指標項目	対象	H29指標	H28実績		H29実績	
			全国	県	全国	県
◆各教科の県平均	小6	国A	72.9%	75.2%	74.8%	76%
		国B	57.8%	58.0%	57.5%	57%
		算A	77.6%	77.0%	78.6%	77%
		算B	47.2%	46.8%	45.9%	46%
		国A	47.2%	46.8%	45.9%	46%
		国B	47.2%	46.8%	45.9%	46%
	中3	数A	75.6%	76.7%	77.4%	77%
		数B	66.5%	67.1%	72.2%	72%
		数A	62.2%	63.2%	64.6%	63%
		数B	44.1%	44.4%	48.1%	48%
◆各教科の最上位層(A～Dの4段階のA層※)の割合 ※A～D層の設定は鳥取県の独自基準(以下同じ)	小6	国A	37.5%	40.8%	38.7%	39.8%
		国B	27.8%	27.1%	31.1%	29.5%
		算A	34.1%	31.8%	37.1%	33.7%
		算B	34.3%	33.0%	29.8%	29.4%
		国A	28.7%	30.3%	30.2%	29.8%
		国B	31.3%	32.8%	42.1%	41.9%
	中3	数A	28.5%	31.8%	28.9%	27.7%
		数B	30.5%	31.5%	26.6%	26.4%
		数A	21.3%	16.8%	22.3%	20.6%
		数B	19.6%	19.3%	23.2%	21.9%
小6	算A	24.2%	25.0%	20.2%	21.4%	
	算B	20.0%	19.4%	18.4%	18.8%	
	国A	21.9%	19.0%	23.2%	23.4%	
	国B	16.4%	15.8%	19.2%	18.9%	
	数A	22.2%	21.2%	25.2%	28.1%	
	数B	21.3%	21.4%	22.5%	23.3%	
			中3時(H28) ／小6時(H25)		中3時(H29) ／小6時(H26)	
◆中学校3年生の各教科の最上位層(A～Dの4段階のA層)の割合 ※ 全国割合に対する割合で比較	中3	国A	同生徒が小学校6年生時の各教科の最上位層の割合を上回る		102.3%	80.5%
		国B			102.1%	96.5%
		数A			107.5%	93.3%
		数B			96.1%	98.6%
◆中学校3年生の各教科の最下位層(A～Dの4段階のD層)の割合 ※ 全国割合に対する割合で比較	中3	国A	同生徒が小学校6年生時の各教科の最下位層の割合を下回る		96.8%	137.4%
		国B			107.0%	107.1%
		数A			104.3%	119.2%
		数B			112.8%	102.6%
			県		県	
◆学校の授業がわかる児童生徒の割合	小6	国	85%	84.0%	83.2%	
		算	80%	77.4%	77.5%	
	中3	国	75%	72.2%	74.2%	
		数	70%	66.4%	67.3%	
◆「身に付けた知識・技能や経験を、生活の中で活用できないか考える」児童生徒の割合(算数・数学)	小6		70.0%	68.4%	66.8%	
	中3		45.0%	42.7%	47.5%	
◆「児童生徒の様々な考えを引き出したり、思考を深めたりする発問や指導をする」小中学校の割合	小学校		95.0%	94.6%	95.3%	
	中学校		95.0%	93.3%	93.5%	
◆「授業の中で、自分たちで課題を立てて、解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して発表するなどの学習活動に取り組む」児童生徒の割合	小6		80.0%	79.6%	75.9%	
	中3		80.0%	76.3%	77.9%	
◆「将来の夢や目標を持っている」児童生徒の割合	小6		90.0%	83.5%	83.4%	
	中3		75.0%	70.3%	69.9%	
◆「国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりする」児童生徒の割合	小6		75.0%	71.4%	70.2%	
	中3		70.0%	65.4%	67.2%	
◆「読書が好きである」児童生徒の割合	小6		75.0%	77.1%	75.7%	
	中3		75.0%	75.2%	74.9%	
◆「学級みんなで協力してやり遂げ、うれしかったことがある」児童生徒の割合	小6		90.0%	88.0%	89.2%	
	中3		85.0%	82.2%	86.9%	

【2 社会全体で学び続ける環境づくり ～協働連携して取り組む家庭・地域教育の推進～】

指標項目	対象	H29指標	H28実績	H29実績
◆「家で、自分で計画を立てて勉強している」児童生徒の割合	小6	70.0%	65.0%	65.0%
	中3	55.0%	52.7%	54.3%
◆「難しいことでも失敗を恐れなくて挑戦している」児童生徒の割合	小6	80.0%	79.1%	79.2%
	中3	70.0%	69.5%	73.1%
◆「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」児童生徒の割合	小6	75.0%	73.4%	63.1%
	中3	70.0%	65.2%	60.4%
◆「自分にはよいところがある」と思う児童生徒の割合	小6	80.0%	78.0%	78.2%
	中3	75.0%	70.9%	73.1%
◆「地域の行事に参加している」児童生徒の割合	小6	85.0%	82.4%	78.7%
	中3	55.0%	53.5%	50.6%

平成29年度全国学力・学習状況調査の結果分析について

平成29年10月13日

小 中 学 校 課

1 教科に関する調査

小学校	国語	<p>「自分の考えを広げたり深めたりするための発言の意図を捉えること」</p> <ul style="list-style-type: none"> 前後の発言と関係付けながら質問の意図を的確に捉えることができていないと思われる誤答が見られた。 国語科の授業以外でも「いつ」「どこで」「何が」「なぜ」など、何を問われているかを正しく理解し、的確に答える活動を意識して行うことが必要である。また、話し合いの活動では、児童が友達の考えの根拠を明確にするための質問をしたり、自分の理解が正しいかどうかを確かめるための質問をしたりするなど、より深い学びにつながる話し合いの仕方について指導することが大切である。
	算数	<p>「基準量と割合を基に、比較量を判断し、その判断の理由を記述すること」</p> <ul style="list-style-type: none"> 「14%長い」という表現の理解が十分でなかったと思われる誤答や示された情報と場面から、基準量、比較量、割合の関係を捉えることができなかったと思われる誤答が多く見られた。 数直線や線分図などに数量を表して、基準量、比較量、割合の関係を調べる活動を取り入れ、それらの数量の関係を捉えられるようにすることが必要である。
中学校	国語	<p>「表現の仕方について捉え、自分の考えを書くこと」</p> <ul style="list-style-type: none"> 比喻を用いた表現を文章中から見つけることができなかったと思われる誤答や比喻を用いた表現が「誰(何)」の「どのような」様子なのかを適切に書けていない誤答が多く見られた。 比喻という表現の技法やその使い方について正しく理解するために、単なる知識として理解することにとどまらず課題解決的な学習活動の中で自分の体験等と関連づけながら理解を深めていくことが必要である。また、文学的な文章を読んで感じたことや考えたことを書く際に、多様な思考・判断を許容するような課題を設定していくとともに、その根拠として比喻や反復などの表現技法についての既習事項を生かすように指導することが大切である。
	数学	<p>「関数の意味を理解すること」</p> <ul style="list-style-type: none"> 独立変数と従属変数の違いを区別できていないと思われる誤答が多く見られた。また、無解答が高く、関数そのものに対する理解が不十分であることも考えられる。 事象の中にある2つの数量の変化や対応の様子を調べ、独立変数と従属変数の違いを意識させ、「○○は△△の関数である」という形で表現させる場面を設定することが大切である。

2 質問紙調査

(1) 学校の取組と2教科平均正答率の関係

【主体的・対話的で深い学びの視点による学習指導の改善】

○授業では、先生から示される課題や、学級やグループの中で、自分たちで立てた課題に対して、自ら考え、自分から取り組んでいたと思う

	小学校 (2教科平均正答率)	中学校 (2教科平均正答率)
当てはまる・どちらかといえば、当てはまる	69.0%	70.1%
どちらかといえば、当てはまらない・当てはまらない	56.0%	52.7%

○授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思う

	小学校 (2教科平均正答率)	中学校 (2教科平均正答率)
当てはまる・どちらかといえば、当てはまる	68.6%	68.7%
どちらかといえば、当てはまらない・当てはまらない	57.4%	57.9%

○学級の友達との間で話し合う活動を通じて、自分の考えを深めたり、広げたりすることができる

	小学校（2教科平均正答率）	中学校（2教科平均正答率）
そう思う・どちらかといえば、そう思う	69.0%	69.4%
どちらかといえば、そう思わない・そう思わない	58.9%	60.6%

○国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしているか

	小学校（2教科平均正答率）	中学校（2教科平均正答率）
当てはまる・どちらかといえば当てはまる	69.1%	70.4%
どちらかといえば、当てはまらない・当てはまらない	57.5%	56.9%

【学習に対する関心・意欲・態度】

○国語の勉強は大切だと思う

	小学校（2教科平均正答率）	中学校（2教科平均正答率）
当てはまる・どちらかといえば、当てはまる	66.5%	66.9%
どちらかといえば、当てはまらない・当てはまらない	53.4%	57.8%

○算数・数学の授業の内容はよく分かる

	小学校（2教科平均正答率）	中学校（2教科平均正答率）
当てはまる・どちらかといえば、当てはまる	69.3%	71.7%
どちらかといえば、当てはまらない・当てはまらない	53.6%	55.4%

○算数・数学の問題の解き方が分からないときは、諦めずにいろいろな方法を考える

	小学校（2教科平均正答率）	中学校（2教科平均正答率）
当てはまる・どちらかといえば、当てはまる	68.5%	70.1%
どちらかといえば、当てはまらない・当てはまらない	52.9%	52.9%

【規範意識の育成】

○学校のきまり（規則）を守っている

	小学校（2教科平均正答率）	中学校（2教科平均正答率）
当てはまる・どちらかといえば、当てはまる	67.0%	66.8%
どちらかといえば、当てはまらない・当てはまらない	53.7%	47.7%

○友達との約束を守っている

	小学校（2教科平均正答率）	中学校（2教科平均正答率）
当てはまる・どちらかといえば、当てはまる	65.7%	66.3%
どちらかといえば、当てはまらない・当てはまらない	54.1%	59.4%

【カリキュラム・マネジメント】

○指導計画について、知識・技能の活用に重点を置いて作成している

	小学校（2教科平均正答率）	中学校（2教科平均正答率）
よくしている・どちらかといえば、している	68.0%	66.8%
あまりしていない	65.6%	33.7%

○指導計画について、言語活動に重点を置いて作成している

	小学校（2教科平均正答率）	中学校（2教科平均正答率）
よくしている・どちらかといえば、している	67.5%	65.8%
あまりしていない	62.9%	28.0%

○指導計画の作成に当たっては、各教科等の教育内容を相互の関係で捉え、学校の教育目標を踏まえた横断的な視点で、その目標達成に必要な教育の内容を組織的に配列している

	小学校（2教科平均正答率）	中学校（2教科平均正答率）
よくしている・どちらかといえば、している	67.7%	65.8%
あまりしていない	65.4%	32.6%

(2) 家庭・地域の取組と2教科平均正答率の関係

【基本的な生活習慣の確立】

○朝食を毎日食べている

	小学校（2教科平均正答率）	中学校（2教科平均正答率）
している・どちらかといえば、している	64.4%	64.3%
あまりしていない・全くしていない	50.4%	51.1%

○毎日、同じくらいの時刻に起きている

	小学校（2教科平均正答率）	中学校（2教科平均正答率）
している・どちらかといえば、している	66.9%	67.3%
あまりしていない・全くしていない	53.6%	56.1%

○普段1日当たりのテレビやビデオ・DVDを見たり、聞いたりする時間

	小学校（2教科平均正答率）	中学校（2教科平均正答率）
全く見たり、聞いたりしない	72.1%	66.9%
1時間より少ない	69.3%	70.0%
1時間以上、2時間より少ない	68.8%	69.5%
2時間以上、3時間より少ない	67.2%	67.2%
3時間以上、4時間より少ない	64.6%	63.6%
4時間以上	60.6%	57.8%

【学習習慣の確立】

○自分で計画を立てて勉強をしている

	小学校（2教科平均正答率）	中学校（2教科平均正答率）
している・どちらかといえばしている	69.0%	69.6%
あまりしていない・全くしていない	60.2%	62.2%

○学校の宿題をしている

	小学校（2教科平均正答率）	中学校（2教科平均正答率）
している・どちらかといえば、している	63.1%	65.8%
あまりしていない・全くしていない	50.2%	54.0%

○学校の授業時間以外に、普段1日当たり勉強をする時間

	小学校（2教科平均正答率）	中学校（2教科平均正答率）
3時間以上	68.9%	69.0%
2時間以上、3時間より少ない	69.3%	69.9%
1時間以上、2時間より少ない	68.4%	67.9%
30分以上、1時間より少ない	64.3%	64.7%
30分より少ない	57.4%	60.7%
全くしない	55.3%	54.8%

○昼休みや放課後、学校が休みの日に、本を読んだり、借りたりするために、学校図書館・学区図書室や地域の図書館に行く頻度

	小学校（2教科平均正答率）	中学校（2教科平均正答率）
だいたい週に4回以上	72.1%	69.4%
週に1～3回程度	70.6%	70.9%
月に1～3回程度	68.8%	70.8%
年に数回程度	65.7%	67.4%
ほとんど、または、全くいかない	61.1%	63.6%

【家庭でのコミュニケーション・学校教育活動への関心】

○家の人（兄弟姉妹は含まない）と学校での出来事について話をする

	小学校（2教科平均正答率）	中学校（2教科平均正答率）
している・どちらかといえばしている	68.0%	68.3%
あまりしていない・全くしていない	56.6%	58.8%

○携帯電話やスマートフォンの使い方について、家の人と約束したことを守っている

	小学校（2教科平均正答率）	中学校（2教科平均正答率）
携帯電話やスマートフォンを持っていない	69.0%	71.4%
きちんと守っている・だいたい守っている	64.6%	65.1%
携帯電話やスマートフォンを持っているが、約束はない	62.9%	61.6%
あまり守っていない・守っていない	53.9%	62.1%

【地域や社会に対する関心】

○今住んでいる地域の行事に参加している

	小学校（2教科平均正答率）	中学校（2教科平均正答率）
当てはまる・どちらかといえば、当てはまる	67.5%	68.3%
どちらかといえば、当てはまらない・当てはまらない	61.2%	64.6%

○地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある

	小学校（2教科平均正答率）	中学校（2教科平均正答率）
当てはまる・どちらかといえば、当てはまる	69.5%	70.1%
どちらかといえば、当てはまらない・当てはまらない	60.4%	60.7%

○地域や社会などでボランティアに参加したことがある

	小学校（2教科平均正答率）	中学校（2教科平均正答率）
参加したことがある	68.9%	69.1%
参加したことがない	63.8%	62.6%

○新聞を読む頻度

	小学校（2教科平均正答率）	中学校（2教科平均正答率）
ほぼ毎日読んでいる	73.2%	72.8%
週に1～3回読んでいる	70.8%	70.5%
月に1～3回読んでいる	67.4%	67.1%
ほとんど、または、全く読まない	63.3%	64.7%

平成29年10月13日

小 中 学 校 課

1 教科に関する調査

調査結果（平均正答率）

【小学校(公立)】

[単位：%]

	国語A			国語B			算数A			算数B		
	東部	中部	西部									
H29	77	75	75	58	56	57	78	79	77	47	45	45
	国 74.8	県 76		国 57.5	県 57		国 78.6	県 77		国 45.9	県 46	
H28	77.0	75.7	73.3	58.6	59.2	57.0	77.7	79.5	75.2	47.0	48.7	45.8
	国 72.9	県 75.2		国 57.8	県 58.0		国 77.6	県 77.0		国 47.2	県 46.8	
H27	73.2	71.2	70.2	68.0	66.3	66.0	75.7	74.9	73.5	46.7	45.8	43.7
	国 70.0	県 71.5		国 65.4	県 66.8		国 75.2	県 74.6		国 45.0	県 45.2	

【中学校(公立)】

	国語A			国語B			数学A			数学B		
	東部	中部	西部									
H29	77	78	78	71	74	73	63	66	63	48	49	47
	国 77.4	県 77		国 72.2	県 72		国 64.6	県 63		国 48.1	県 48	
H28	77.5	76.4	76.1	67.4	66.8	67.0	63.9	65.0	61.7	44.2	46.6	43.7
	国 75.6	県 76.7		国 66.5	県 67.1		国 62.2	県 63.2		国 44.1	県 44.4	
H27	77.4	76.9	76.5	67.0	65.9	65.5	64.4	66.1	63.5	41.4	42.0	40.7
	国 75.8	県 76.9		国 65.8	県 66.2		国 64.4	県 64.3		国 41.6	県 41.2	

- ◆ 小学校の結果については、東部地域は、2教科4区分全てで全国と差がないか上回る結果であったが、中部地域は国語B問題で、西部地域は算数A問題で全国を下回り、それぞれ課題が見られた。
- ◆ 小学校の結果における地域間の差は、2教科4区分全てで2ポイントとなっている。
- ◆ 中学校の結果については、中部地域は、2教科4区分全てで全国と差がないか上回る結果であったが、東部地域は国語B問題、数学A問題で全国を下回り、両教科で課題が見られ、西部地域は数学A・B問題で全国を下回り、数学に課題が見られた。
- ◆ 中学校の結果における地域間の差は、国語Aで1ポイント、国語B、数学Aで3ポイント、数学Bで2ポイントとなっており、国語B、数学Aにおける差が大きくなっている。
- ◆ それぞれの地域ごとに、校種、教科等で課題が見られた。

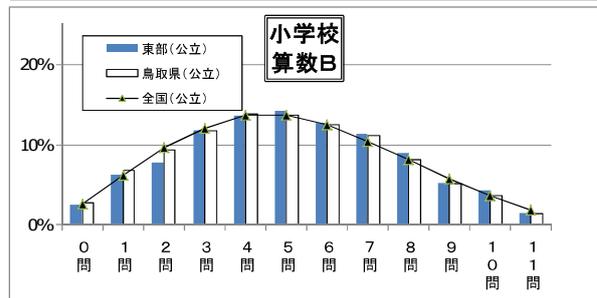
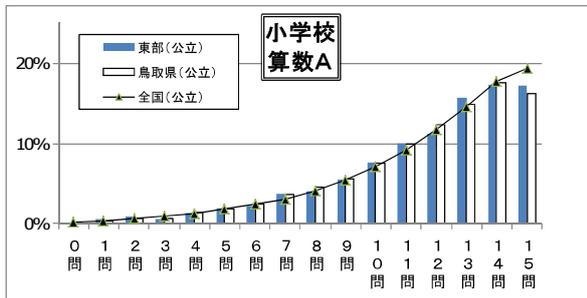
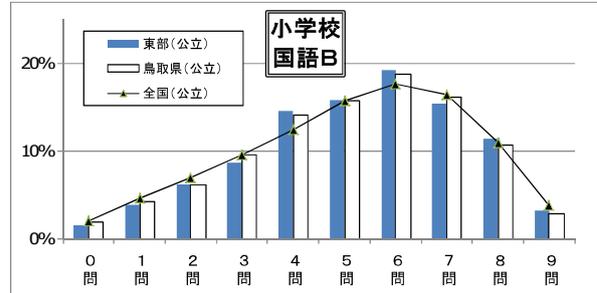
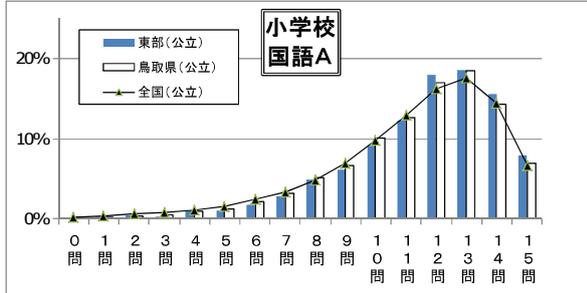
2 質問紙調査

- ◆ 「算数の授業の内容がよく分かる」と回答した児童の割合は、3地域とも全国を下回っており、引き続き算数科における授業改善に取り組んでいく必要がある。
- ◆ 「算数・数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考える」と回答した児童生徒の割合は、中学校では3地域とも全国を上回っているが、小学校では東部地域、中部地域で下回っており、算数科における日常生活と関連を図った指導が求められる。
- ◆ 「様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をした」と回答した学校の割合は、小学校では西部地域が、中学校では東部地域が全国を下回っており、学習指導方法の充実を図っていく必要がある。
- ◆ 「学級やグループの中で自分たちで課題を立てたり、話し合ったりする活動に取り組んでいる」と回答した児童生徒の割合は、東部地域の小学校で全国を下回っており、「主体的・対話的で深い学びの視点」からの授業改善の更なる充実が求められる。
- ◆ 「家で自分で計画を立てて勉強している」と回答した児童生徒の割合は、小学校、中学校いずれも3地域で全国を上回っている。
- ◆ 「地域の行事に参加している」と回答した児童生徒の割合は、小学校、中学校いずれも3地域で全国を大きく上回っている。特に中部地区は割合が高い。
- ◆ 「将来の夢や目標をもっている」「地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がある」と回答した児童の割合は、小学校では3地域とも全国平均を下回っており、地域や社会と接点を持った教育活動の更なる充実が求められる。

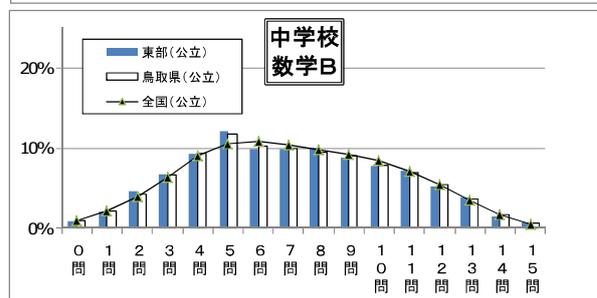
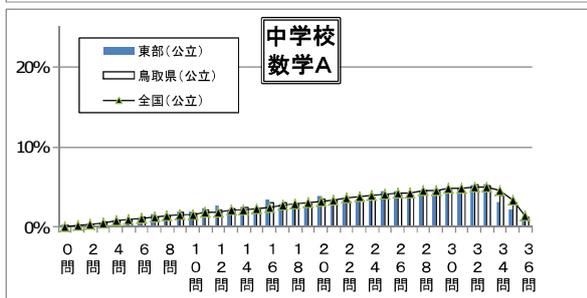
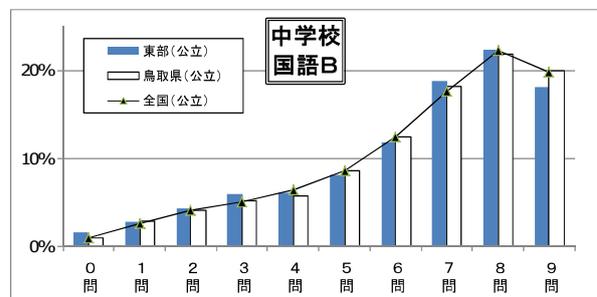
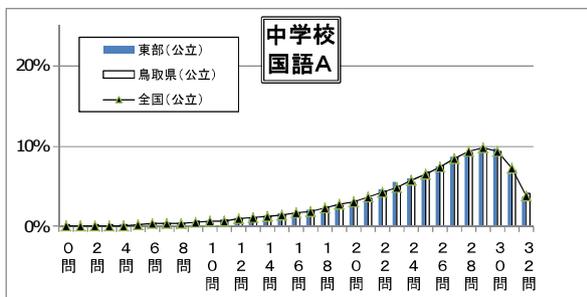
平成29年度 全国学力・学習状況調査 鳥取県東部地域 調査結果概要

■ 教科に関する調査

	小学校国語A	小学校国語B	小学校算数A	小学校算数B
東部(公立)	77	58	78	47
鳥取県(公立)	76	57	77	46
全国(公立)	74.8	57.5	78.6	45.9



	中学校国語A	中学校国語B	中学校数学A	中学校数学B
東部(公立)	77	71	63	48
鳥取県(公立)	77	72	63	48
全国(公立)	77.4	72.2	64.6	48.1



- ・ 小学校は国語A、算数Bで全国平均正答率を上回った。
- ・ 中学校は国語B、数学Aで全国平均正答率を下回った。
- ・ 小学校国語Aにおいて、上位層の割合が全国に比べ高く、下位層の割合が全国に比べ低い。
- ・ 小学校算数A、中学校数学Aにおいて、上位層の割合が全国に比べ低い。また、中学校数学Aにおいては、下位層の割合が全国に比べ高い。

■質問紙調査 ※数値は、肯定的な回答の割合

〔小学校〕

質問事項	東部	鳥取県 (公立)	全国 (公立)
国語の授業の内容はよく分かりますか	83.0	83.2	82.2
算数の授業の内容はよく分かりますか	76.9	77.5	80.6
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	64.2	66.8	69.1
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	98.1	95.3	95.5
5年生までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	74.5	75.9	75.1
将来の夢や目標を持っていますか	82.2	83.4	85.9
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	69.3	70.2	68.0
読書は好きですか	72.9	75.7	74.3
学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	88.8	89.2	87.8
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	65.0	65.0	64.5
難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか	79.6	79.2	77.4
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	63.6	63.1	63.9
自分には、よいところがあると思いますか	77.1	78.2	77.9
今住んでいる地域の行事に参加していますか	81.5	78.7	62.6

〔中学校〕

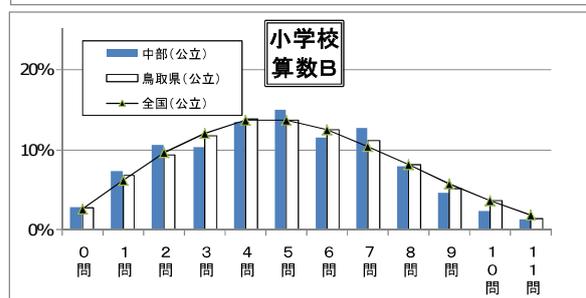
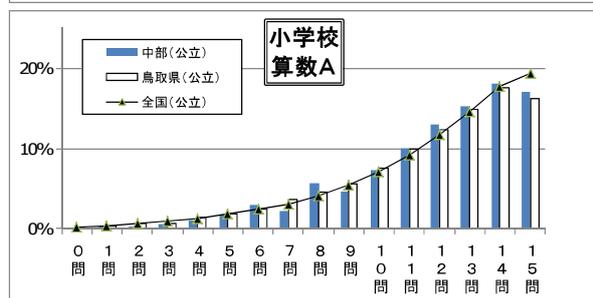
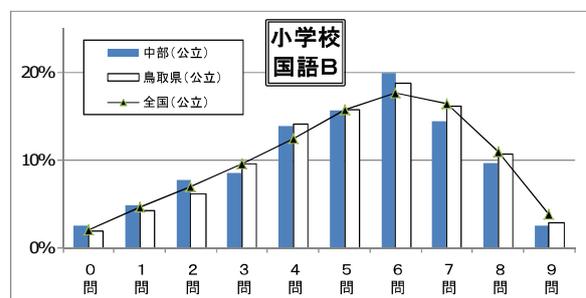
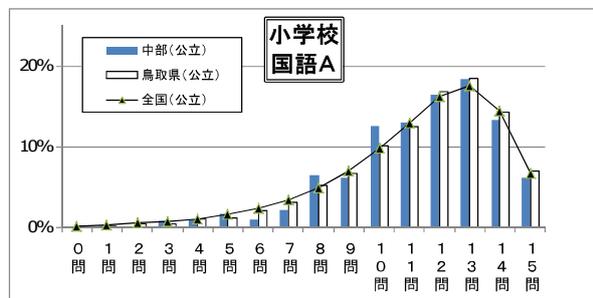
質問事項	東部	鳥取県 (公立)	全国 (公立)
国語の授業の内容はよく分かりますか	73.7	74.2	74.9
数学の授業の内容はよく分かりますか	65.5	67.3	69.4
数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	48.0	47.5	45.3
調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	90.9	93.5	93.9
1、2年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	75.5	77.9	71.3
将来の夢や目標を持っていますか	72.0	69.9	70.5
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	65.7	67.2	62.7
読書は好きですか	76.6	74.9	69.9
学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	87.4	86.9	86.0
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	55.6	54.3	51.5
難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか	73.1	73.1	71.0
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	63.3	60.4	59.2
自分には、よいところがあると思いますか	72.8	73.2	70.7
今住んでいる地域の行事に参加していますか	51.6	50.6	42.1

- ・小学校では、算数の学習で学んだことを普段の生活に活用できないか考えると回答した児童の割合が全国に比べて低い。
- ・中学校では、学級やグループの中で自分で課題を立てたり、話し合ったりする活動をしていたと回答した生徒の割合が全国に比べ高い。
- ・小中学校ともに、算数・数学の授業内容がよくわかると回答した児童生徒の割合が全国に比べ低い。
- ・小中学校ともに、地域の行事に参加していると回答した児童生徒の割合が全国に比べてかなり高い。

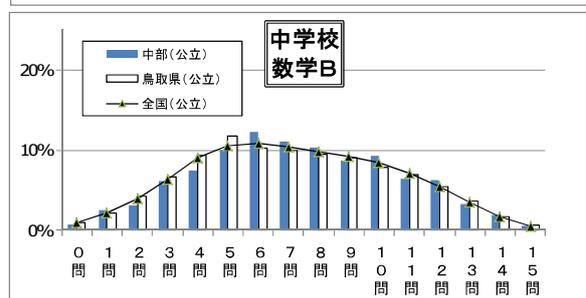
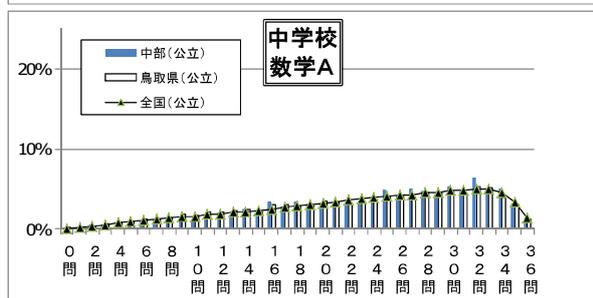
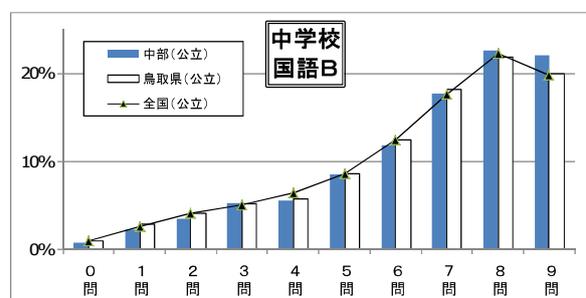
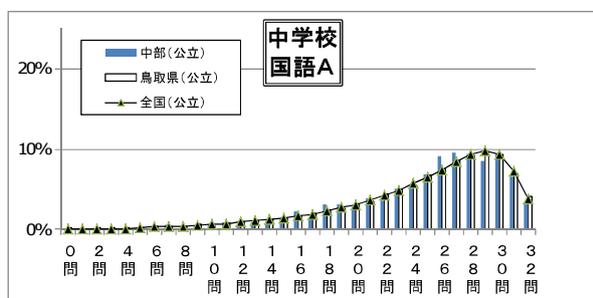
- ・各学校の授業改善の中心的な役割を担う研究主任等を対象とした研修会を開催し、校内研究の具体的な進め方等について理解を深めている。
- ・エキスパート教員の優れた授業技術について学ぶためのワークショップを開催し、授業づくりについて理解を深めている。
- ・東部地区指導主事等連絡協議会を年3回開催し、全国学力・学習状況調査の課題や改善策、各市町の取組について共有する等、市町教育委員会と連携して取組を進めている。
- ・年度当初に、学事同行で全小中学校を訪問し、研究推進に係る取組、全国学力・学習状況調査の結果活用状況と授業改善に向けた取組への助言等を行っている。
- ・校内の学力向上推進の中核となる教員を対象に、東部地区学力向上推進に係る説明会を開催し、県の抽出結果の分析を基にした授業改善等について説明を行った。

■ 教科に関する調査

	小学校国語A	小学校国語B	小学校算数A	小学校算数B
中部(公立)	75	56	79	45
鳥取県(公立)	76	57	77	46
全国(公立)	74.8	57.5	78.6	45.9



	中学校国語A	中学校国語B	中学校数学A	中学校数学B
中部(公立)	78	74	66	49
鳥取県(公立)	77	72	63	48
全国(公立)	77.4	72.2	64.6	48.1



- ・ 小学校は国語Bで全国平均正答率を下回った。
- ・ 中学校は国語B、数学Aで全国平均正答率を上回った。
- ・ 小学校国語B、算数Bにおいて、上位層の割合が全国に比べ低い。また、算数Bにおいては、下位層の割合が全国に比べ高い。
- ・ 中学校国語B、数学Aにおいて、上位層の割合が全国に比べ高い。また、数学Aに置いては、下位層の割合が全国に比べ低い。

■質問紙調査 ※数値は、肯定的な回答の割合

[小学校]

質問事項	中部	鳥取県 (公立)	全国 (公立)
国語の授業の内容はよく分かりますか	81.4	83.2	82.2
算数の授業の内容はよく分かりますか	78.8	77.5	80.6
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	64.9	66.8	69.1
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	96.1	95.3	95.5
5年生までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	76.6	75.9	75.1
将来の夢や目標を持っていますか	83.0	83.4	85.9
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いていますか	69.1	70.2	68.0
読書は好きですか	76.7	75.7	74.3
学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	89.2	89.2	87.8
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	66.1	65.0	64.5
難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか	75.6	79.2	77.4
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	62.3	63.1	63.9
自分には、よいところがあると思いますか	79.0	78.2	77.9
今住んでいる地域の行事に参加していますか	86.8	78.7	62.6

[中学校]

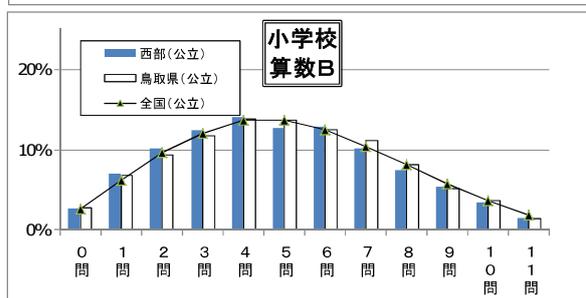
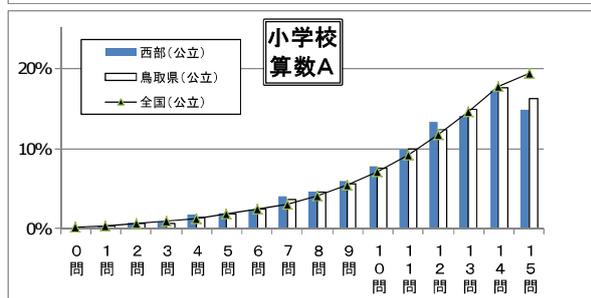
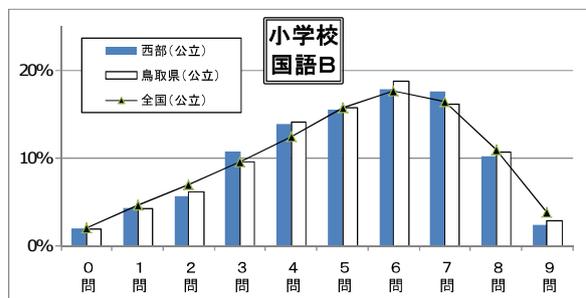
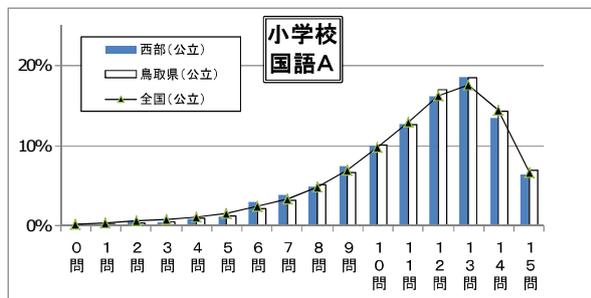
質問事項	中部	鳥取県 (公立)	全国 (公立)
国語の授業の内容はよく分かりますか	78.6	74.2	74.9
数学の授業の内容はよく分かりますか	72.3	67.3	69.4
数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	50.6	47.5	45.3
調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	100.0	93.5	93.9
1、2年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	82.4	77.9	71.3
将来の夢や目標を持っていますか	71.0	69.9	70.5
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いていますか	69.5	67.2	62.7
読書は好きですか	74.9	74.9	69.9
学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	88.1	86.9	86.0
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	55.5	54.3	51.5
難しいことでも、失敗を恐れずに挑戦していますか	76.1	73.1	71.0
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	61.0	60.4	59.2
自分には、よいところがあると思いますか	74.5	73.2	70.7
今住んでいる地域の行事に参加していますか	63.9	50.6	42.1

- ・国語、算数・数学の授業の内容がよく分かると回答した児童生徒の割合は、小学校では全国に比べ低く、中学校では高くなっている。
- ・中学校では、「調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をした」との回答が100%であり、意識的な授業改善が行われている。また、他の質問項目の数値にもその結果が表れていると考えられる。

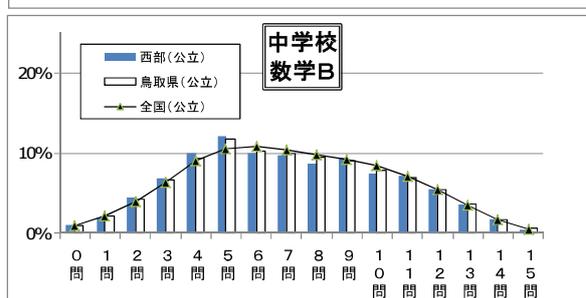
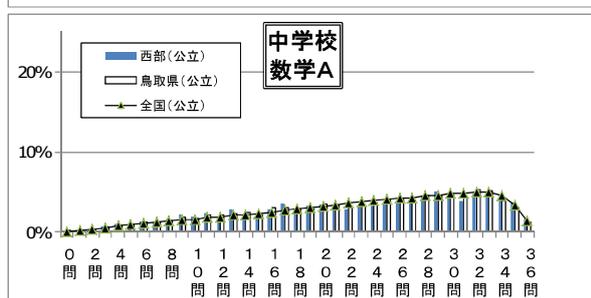
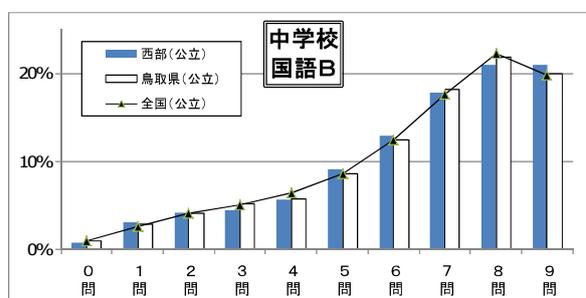
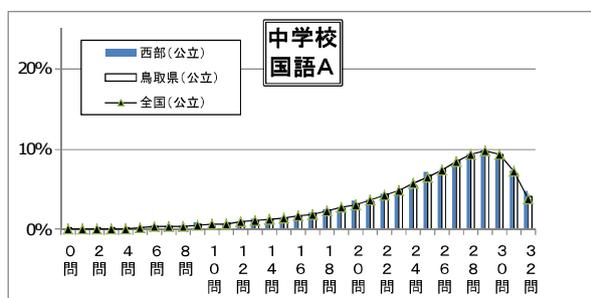
- ・中部地区指導主事等連絡協議会を開催し、全国学力・学習状況調査の中部地区の課題や改善策、各市町の取組について共有する等、市町教育委員会と連携して取組を進めている。
- ・各小中学校の研究主任及び希望者を対象とした研究主任等研修会に年に2回開催し、校内研究の進め方についての理解を深めると共に、全国学力・学習状況調査の活用についての演習や活用状況の情報交換を行い、校内研究推進の実効策を考える機会としている。
- ・「中部版スクラム教育」事業において、希望する学校に対して、全国学力・学習状況調査の活用についてのミニ研修を実施している。

■ 教科に関する調査

	小学校国語A	小学校国語B	小学校算数A	小学校算数B
西部(公立)	75	57	77	45
鳥取県(公立)	76	57	77	46
全国(公立)	74.8	57.5	78.6	45.9



	中学校国語A	中学校国語B	中学校数学A	中学校数学B
西部(公立)	78	73	63	47
鳥取県(公立)	77	72	63	48
全国(公立)	77.4	72.2	64.6	48.1



- ・ 小学校は、算数Aで全国平均正答率を下回った。
- ・ 中学校は、数学A、Bでは全国平均正答率を下回った。
- ・ 小学校算数Aにおいて、上位層の割合が全国に比べ低く、下位層の割合が全国に比べ高い。
- ・ 中学校数学Bにおいて、下位層の割合が全国に比べ高い。

■質問紙調査 ※数値は、肯定的な回答の割合

〔小学校〕

質問事項	西部	鳥取県 (公立)	全国 (公立)
国語の授業の内容はよく分かりますか	84.4	83.2	82.2
算数の授業の内容はよく分かりますか	78.1	77.5	80.6
算数の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	70.4	66.8	69.1
調査対象学年の児童に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	91.5	95.3	95.5
5年生までに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	77.2	75.9	75.1
将来の夢や目標を持っていますか	84.8	83.4	85.9
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	71.9	70.2	68.0
読書は好きですか	78.3	75.7	74.3
学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	89.8	89.2	87.8
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	64.7	65.0	64.5
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	80.3	79.2	77.4
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	63.1	63.1	63.9
自分には、よいところがあると思いますか	79.1	78.2	77.9
今住んでいる地域の行事に参加していますか	73.0	78.7	62.6

〔中学校〕

質問事項	西部	鳥取県 (公立)	全国 (公立)
国語の授業の内容はよく分かりますか	73.4	74.2	74.9
数学の授業の内容はよく分かりますか	67.2	67.3	69.4
数学の授業で学習したことを普段の生活の中で活用できないか考えますか	45.8	47.5	45.3
調査対象学年の生徒に対して、前年度までに、様々な考えを引き出したり、思考を深めたりするような発問や指導をしましたか	96.2	93.5	93.9
1、2年生のときに受けた授業では、学級やグループの中で自分たちで課題を立てて、その解決に向けて情報を集め、話し合いながら整理して、発表するなどの学習活動に取り組んでいたと思いますか	78.5	77.9	71.3
将来の夢や目標を持っていますか	67.9	69.9	70.5
国語の授業で目的に応じて資料を読み、自分の考えを話したり、書いたりしていますか	68.0	67.2	62.7
読書は好きですか	73.4	74.9	69.9
学級みんなで協力して何かをやり遂げ、うれしかったことがありますか	86.2	86.9	86.0
家で、自分で計画を立てて勉強をしていますか	52.7	54.3	51.5
難しいことでも、失敗を恐れなくて挑戦していますか	72.1	73.1	71.0
地域や社会で起こっている問題や出来事に関心がありますか	57.3	60.4	59.2
自分には、よいところがあると思いますか	73.6	73.2	70.7
今住んでいる地域の行事に参加していますか	44.1	50.6	42.1

- ・小学校国語を除き、授業の内容がよく分かると回答した児童生徒の割合が全国に比べ低い。
- ・小中学校とも、学級やグループの中で自分で課題を立てたり、話し合ったりする活動をしていたと回答した児童生徒の割合が全国に比べ高い。

- ・校長会通信を作成し、過去の調査で特に課題のある問題を基に、指導改善のポイントや教科横断的な指導の事例を提示した。特に知識、活用の両方で課題が見られた算数・数学については、系統的な指導や授業改善のポイントを具体的に提示することにより、学校の課題克服に向けた取組を支援している。
- ・校長会等で全国学力・学習状況調査結果を説明し、課題や成果を上げている取組について共有している。また、研究主任研修会を定期的に開催し、学校全体における授業改善の推進に向けた研究主任のマネジメント力向上を図っている。
- ・要請訪問では、全国学力・学習状況調査の問題や抽出調査分析結果を活用し、育成すべき資質・能力の理解促進を図るとともに、自校の課題を明確にした校内研究推進を支援している。
- ・市町村教育委員会の取組やニーズに応じた支援を行うとともに、市町村教育委員会学校教育担当者会を開催し、西部地区の学力向上について協議し、連携を図っている。